

平成29年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input checked="" type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	石井鶴三、島崎藤村先生木彫像の木片史料と近代造形法に関する研究－木片の検証と制作工程の再現－
報告者氏名・所属・職名	釧路校 准教授 福江良純
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	釧路校 准教授 福江良純






研究内容及び成果の概要

本研究は、彫刻家石井鶴三(1887-1973)の木彫代表作、「島崎藤村先生像」(1949～)の制作工程に残された「木片」の調査に基づき、「基本形」と命名される抽象形態について考究するものである。

本年度は、これまでの研究の要点を更に確実なものとし、特に「基本形」と言われる、木彫制作の最初の木取りによって最小の面のうちに切り出される構造体の意味と機能を追究した。

この成果は、3回の学会発表と1篇の学術論文となったところであるが、本研究課題が持つ射程は、世界的な視座で近代造形の原理を構築し得るほどのものであり、今後広く海外へ発信すべき内容を含むものである。この意味で、本年度の研究は、これまで所在の定かでなかった新資料の発見を伴うものであり、将来に向けた重要な成果を得たと言える。

また、係る研究対象(作品および木片)は、長野県の本曾町、本曾教育会が保管しているが、60余年に及んで石井鶴三の顕彰に努め、今日まで作品および木片を語り継ぐ本曾教育会自体の功績についても、本年度は成果物の論文中に言及している。

藤村像第一作 木片データ 8月22日分(基本形)				
管理番号	日付	部位	書込み他	写真
I-1	8月22日	後側面	後側 廿二日	
I-2	8月22日	左側面	左側斜 廿二日	
I-3	8月22日	後側上斜 面	後側上 方 廿二日	
I-4	8月22日	正面	前	
I-5	8月22日	右側面	廿二日	



藤村像第一作の木片一覧(8/22分)
と基本形

成果の公表の状況

【著書】

【学術論文】福江良純、「本曾の島崎藤村像と近代造形－石井鶴三「島崎藤村先生像」の木片調査」、信州大学附属図書館研究、第7号、2018。

教育現場で活用可能な分野・教材等

配布又はダウンロード可能な資料

問合わせ先

代表者：福江良純

電 話： 0154 - 44 - 3342

FAX :

mail :